

事業活動脱炭素化取組結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 〒108-0075

住 所 東京都港区港南2-18-1 JRイーストビル

氏 名 株式会社 GFF

代表取締役社長

清水祐介

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 GFF		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区東扇島6-10 かわさきファズA棟3-9		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	産業 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	ゼンショーホールディングスグループへの食材の供給		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	2,539 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	
		※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2024年度	2026年度	(報告年度 2024年度分)
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添	指針様式のとおり	
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添	指針様式のとおり	
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添	指針様式のとおり	
備考			

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2023	年度	2023	年度	2023	年度
目標	年度	2026	年度	2026	年度	2026	年度
基準	排出量 (t-CO ₂)	(基) 5,617 (調) 5,155		(基) (調)		(基) (調)	
目標	排出量 (t-CO ₂)	(基) 5,568 (調) 5,106		(基) (調)		(基) (調)	
削減	量 (t-CO ₂)	(基) 49 (調) 49		(基) (調)		(基) (調)	
削減	率	(基) 0.9 % (調) 1.0 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	2024年度	排出量 (t-CO ₂)	(基) 5,129 (調) 5,129		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) 488 (調) 26		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) 8.7 % (調) 0.5 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	2025年度	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	2026年度	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	4,915 4,829	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	5,568 5,106	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	-13.3 % -5.7 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	-4.4 % -6.2 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

当社は、ゼンショーホールディングス内で、食材を加工し、供給する会社である。
 グループ内には、ファストフード、ファミリーレストラン、外販食品販売業といった様々な食を消費者に届ける会社であり、それぞれが会社からの要求に応じて、食材の加工(開発と製造、販売)を行っている。
 国への報告では、生産高を原単位として使用しているが、川崎市内2工場の特性から、引き続き製造重量を原単位として、採用した。(製品単価は当社で決定できず、その比率が対象工場では高い為)
 製造重量は増加傾向にあるが、南関東第一工場は設備更新時期なので、高効率設備の導入により、消費量の削減を企図する。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	1. 社内他部署との情報共有 2. 老朽冷凍設備及び空調設備の更新
第1年度	1. 引き続き週1回の情報共有会議を実施 生産管理部門の者と定期的に話をする時間を設けた(蒸気等の損失に対してのアドバイス等) 2. R22冷媒ガス使用の空調機11系統(室内機18台)の入替工事实施 加熱冷却槽3台、熱交換器2台の更新工事实施
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値 (1、2号該当者)

原単位等の活動量	製造重量		原単位等の単位		kl/ton
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費原単位の値	0.09023	0.08653			0.08690
活動量の値	29640	29340			30400
エネルギー消費原単位の削減率		4.1 %	%	%	3.7 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量原単位の値					
活動量の値					
排出量原単位の削減率		%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

当社は、ゼンショーホールディングス内で、食材を加工し、供給する会社である。
 グループ内には、ファストフード、ファミリーレストラン、外販食品販売業といった様々な食を消費者に届ける会社であり、それぞれが会社からの要求に応じて、食材の加工(開発と製造、販売)を行っている。
 国への報告では、生産高を原単位として使用しているが、川崎市内2工場の特性から、引き続き製造重量を原単位として、採用した。(製品単価は当社で決定できず、その比率が対象工場では高い為)
 製造重量は増加傾向にあるが、南関東第一工場は設備更新時期なので、高効率設備の導入により、消費量の削減を企図する。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
原油換算エネルギー使用量	2,675 kL	2,539 kL	kL	kL
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,617 t-CO ₂	5,129 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	2	2		

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量《クレジット考慮》 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
南関東第一工場	<small>神奈川県川崎市緑区東扇島4-10 かわさきアパズA館1F</small>	5,324	4,841		

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計画	1. 使用電力の見える化 2. 設備定期点検のマニュアル化
第 1 年度	1. 実施するにあたり全工場まで想定している為、本部にて機種選定中 2. 点検マニュアルの作成を実施 更新した設備については修正
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項 (1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入 (基準年度)

種 類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入 (保有) 年度
太 陽 光				テナントの為、不可
風 力				テナントの為、不可
バ イ オ マ ス (燃料 :)				テナントの為、不可
そ の 他 ()				
そ の 他 ()				
合 計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電力エネルギー消費量	6,900,880 kWh	7,153,410 kWh	kWh	kWh	6,900,000 kWh
再エネ電源等	345,044 kWh	357,671 kWh	kWh	kWh	345,044 kWh
再エネ電源比率	5.0 %	5.0 %	%	%	5.0 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.390	0.431			0.390

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電化の割合	57.5 %	62.8 %	%	%	65.00 %

(4) 目標設定に関する説明

テナントの為、再生可能エネルギーを利用するかはオーナー様の意向によります。
 導入日は決まっておりませんが、協議済みでグリーン電力にする方向で進めていると回答をいただいています。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	テナントの為、再生可能エネルギーを利用するかはオーナー様の意向によります。	
第1年度	テナントの為、再生可能エネルギーを利用するかはオーナー様の意向によります。	
第2年度		
第3年度		
計画期間における再生可能エネルギー等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし	上記目標等の設定なし		
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし	取組実績なし		
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	無	無		
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし	導入なし		
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし	該当なし		
RE100	該当なし	該当なし		
RE Action	該当なし	該当なし		
TCFD	該当なし	該当なし		

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし	記載なし		
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし	製品・技術等の利用なし		
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし	取得なし		
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<p>A 社内他工場との情報共有と横展開 B ビルオーナーとの協議 C 設備更新時、高効率設備への更新 D 定期メンテナンスのマニュアル作成及び運用 E 使用電力の見える化</p>
<p>第1年度</p>	<p>A 社内他工場との情報共有と横展開 B ビルオーナーとの協議 C 設備更新時、高効率設備への更新 D 定期メンテナンスのマニュアル作成及び運用</p>
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	